

山形県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

選抜概要

- 山形県の公立高校入試は、推薦と一般の2回選抜を行います。

	出願期間	入試日	合格発表日
推薦	1/22(金)~28(木)	2/5(金)	2/15(月)
一般	2/19(金)~26(金)	3/10(水)・11(木)	3/17(水)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。
一般選抜においては、2つ以上の学科がある学校の場合に限り、第3志望まで認められます。
- 普通科、理数科及び探究科の通学区域は原則として、東学区・北学区、南学区、西学区の3つに分かれています。職業に関する学科・体育科・音楽科・総合学科は全県1学区とし、いずれの高校にも志願することができます。

推薦選抜

- 推薦選抜は、当該学科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切で、学科に対する適性・興味及び関心を持ち、各学校が定める出願要件を満たしている者を対象とした選抜です。

実施可能な学科は、職業に関する学科、理数科、体育科、音楽科、総合学科となっており、探究科においては実施しません。

- 募集人員は各学科により可能な範囲が異なります。
 - ・職業に関する学科、理数科、総合学科…定員の30%以内
 - ・音楽科…50%程度
 - ・体育科…70%程度

- 選抜資料
 - ・調査書、自己推薦書、自己申告書、面接他、各学校の裁量で、基礎学力検査(40分程度)や作文・実技等を行うことが可能です。
 - ・下記の特定学科に関しては、各学科の適性検査を行うものとします。

	適性検査(必須)	適性検査(選択)
体育学科	体力診断テスト(3種目)	陸上競技・水泳・サッカー等の12種目から1種目
音楽学科	新曲視唱	ア. 声楽 イ. 器楽のいずれか

- 上記の資料・結果を用いて、選抜を行います。

一般選抜

●募集人員は募集定員から推薦選抜の合格者数を減じた人数となります。

●選抜資料

①学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分・各100点） ・特定の学校において、1教科又は2教科で傾斜配点を行うこともある。 傾斜倍率は1.5倍とする。
②調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定 ・3年次の評定×5=45点
③特定学科の適性検査	・山形中央（体育科） [必須] 体力診断テスト（3種目） [選択] 陸上競技・水泳・サッカー等の12種目から1種目 ・山形北（音楽科） [選択] ア. 声楽 イ. 器楽のいずれか

●上記の資料・結果を用いて、選抜を行います。

選抜方法

●選抜は、各学校・学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性を判定して行われます。

学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行います。

・学力の総合段階の作成に当たっては、調査書（3年次の評定）と学力検査の成績をそれぞれ500点満点に換算し、各高校によって定められた比率に応じて算出した調査書点と学力検査点の和が合計得点となります。

比率は3：7～7：3のいずれかとなります。

・調査書の「各教科の学習の記録（1・2年次の各教科の評定、3年次の観点別学習状況）」
「総合的な学習の時間の記録」についても十分考慮し、「行動の記録」など、ほかの項目についてもその状況を考慮します。

・体育科及び音楽科は、適性検査の結果を選抜の資料として加えます。

調査書中の3年次の評定合計と
学力検査の比率が5：5の場合
評定合計(Y)と学力検査の合計(G)

調査書点 (I)
 $I = (Y/45 \times 500) \times 0.5$

学力検査点 (S)
 $S = G \times 0.5$

傾斜配点の場合
・1教科傾斜
 $S = (G/550 \times 500) \times 0.5$
・2教科傾斜
 $S = (G/600 \times 500) \times 0.5$